



可愛いおたけび

目次

9月定例会	
病気の子を預けられます	P2
あいのりくん利用券などを助成	P3
村政を問う!	P6
12月定例会日程	P12
イモゾーフAMILYと学ぼう 議会の豆知識⑥	
議員定数、報酬はどうなっている?	P12

などを助成 ～免許証の自主返納～

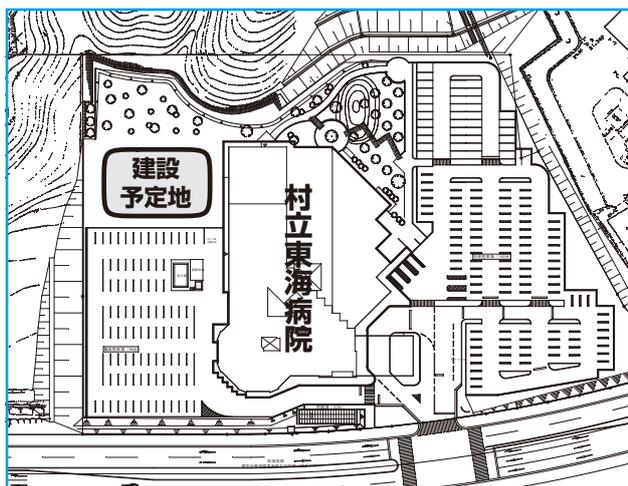
病気の子を預けられます

「病児・病後児保育施設整備推進事業」

施設設計業務委託料 347万円

本村には、お子さんが病気になったとき、預かってもらえる施設がありませんでした。今回、病気のお子さんを預けられる施設を作ることになり、平成31年度供用開始を目指して設計費用が予算化されました。場所は村立東海病院の敷地内です。お子さんを安心して預けて仕事に従事できるよう、子育てと就労の両立を支援します。

この施設は、定員4名で、おおむね生後6カ月から小学校6年生までを対象に、風邪・下痢・みずぼうそう・風疹・インフルエンザ・骨折等のお子さんが平日の午前8時から午後6時までの時間で利用できる施設として予定しています。



施設建設予定地

平成28年度決算をすべて認定

10月16日から20日にかけて、予算決算委員会で決算の審査を行い、様々な意見が出されました。一般会計・特別会計ともにすべて「認定」となりました。委員会が出された意見の一部は下記のとおりです。

- 1 公共用地の賃借料について、是正に努めること。
- 2 部原地区工業団地の第二工区については、計画の見直しも含め検討すること。
- 3 公共施設等使用料の減免基準については、明確にするよう努めること。

2万円分の利用券

平成29年度補正予算を含む31件の議案等を可決

平成29年第3回定例会（9月議会）が9月29日に開会し、11日から13日に一般質問（10人）を行い、16日からは予算決算委員会において、議案等の審査を行いました。25日は議案審議を行い、平成29年度一般会計補正予算など、村長提出議案等31件をすべて可決・認定しました。また、今回の補正予算の主なものは、病児・病後児保育施

設整備推進事業や高齢者運転免許証自主返納支援事業などです。

請願については、文教厚生委員会に付託されていた「若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める請願」（公的年金の毎月支給を求める請願）を賛成少数で不採択とし、「教育予算の拡充を求める請願」を全会一致で採択しました。

あいのりくん利用券などを助成

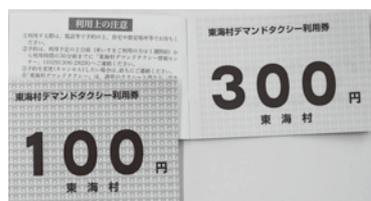
「高齢者運転免許自主返納支援事業」

事業費 193万円

高齢者が免許を返納したとき、助成する制度ができます。65歳以上の村民の方で、平成29年4月1日以降に運転免許証を返納し、返納後1年を経過していない方を対象に、1回限定で実施します。

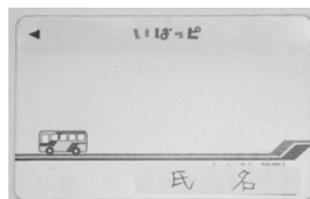
① デマンドタクシー「あいのりくん」

利用券21,000円分



② 茨城交通ICカード乗車券

「いばっぴ」20,500円分
(登録料500円を含む)



③ 東海村商工会の共通金券

20,000円分



※3つの中から1つを選択 65歳以上の方の自主的な免許返納を応援します。

委員会報告

請願第29—1号
若い人も高齢者も安心でき
る年金制度を求める請願

文教厚生委員会報告

↓不採択とすべきもの

本請願は、公的年金の隔月支給を毎月支給にすることを求めるものである。現行の年金制度に対する不安が本請願につながっていることなど毎月支給に賛同する意見が出された一方で、システム改修等の経費は増加するが受給額に変わりはないなどの意見が多数を占め、賛成少数で「不採択とすべきもの」に決定した。

本会議で **不採択** となりました

討論

次の賛否は、不採択とした委員会報告に対するものです。

反対

光風会

恵利 いつ 議員

73万6千筆を超える署名が集

まっている。「現状に不満を持っている人が少ない」とした理由は客観性に乏しい捉え方と考える。年間で一人当たり約60円の手数料増加は経費であり、浪費とは違つて採択すべき。

賛成

公明党

岡崎 悟 議員

請願は公的年金の毎月支給を求めている。実施には大規模なシステム改修とハードの増強が必要で、振り込み手数料も2倍である。また、受給者死亡時の年金停止で、遅延での過払いも懸念される。慎重な検討が必要である。

反対

無党派

清宮 寿子 議員

1千万人をこえる低年金者の生活を安定させるために、毎月支給は当然の権利である。年金カット法は現役の働き手の給与に年金を連動させるものであり、若い働き手の非正規雇用を改善することが年金制度維持のため重要。

賛成

新政とうかい

笹嶋 士郎 議員

隔月支給では次の支給までの生活が苦しい人がいるので、毎月支給に、この事であるが、受給者が計画的に支出することが肝要で、毎月支給に伴う年間経費が数十億円かかる。その経費を年金財政に回すことが筋である。

反対

無党派

大名美恵子 議員

老後の生活維持に年金はどのつても必要。働いていた時と同じ生計パターンを守りたいと毎月支給を求めるのは当然。厚労省も請願者に「各界の意見も概ね毎月支給に賛成」等回答。採択し改善を促すのが地方議会の役割。

反対

無党派

大名美恵子 議員

財政と効率優先、公共サービス

認定第1号
平成28年度東海村一般会計
歳入歳出決算の認定について

の大幅低下と住民の負担増を強いる村政への転換がわかる決算。学校・保育所の給食調理の民間委託、学童保育の民間企業委託、幼稚園保育料の引き上げ等で、基金総計は131億1千万円余。

認定第2号
平成28年度東海村国民健康
保険事業特別会計歳入歳出
決算の認定について

反対

無党派

大名美恵子 議員

来年からの国保県一本化に向け村から県に提供するデータ抽出の機能を持ったシステム変更の決算は認められない。広域化は市町村の負担軽減をやめさせ、住民に国保税の引き上げが受診抑制を迫り医療費削減を狙うもの。

反対

無党派

大名美恵子 議員

75歳以上の方を国保とは別枠の医療保険に囲い込み、負担増と差

認定第3号
平成28年度東海村後期高齢
者医療特別会計歳入歳出決
算の認定について

別医療の強要は反対。

反対

無会派
大名美恵子議員

認定第4号
平成28年度東海村介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

反対

無会派
清宮 寿子議員

認定第8号
平成28年度水戸・勝田都市計画事業東海中央土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について

財源の流れからみると保留地売上が約半分に減り、その分村単独費が約2倍になっており、来年度で国庫支出金もゼロとなる。今後、人口減、税収減が見通される中、財政圧迫が懸念される。検討が必要。

各議員の賛否 (議案・請願で賛否の分かれたもの)

	新政とうかい											光風会	豊創会	公明党	無会派		結果				
	鈴木 昇	飛田 静幸	村上 邦男	舛井 文夫	大内 則夫	越智 辰哉	河野 健一	武部 慎一	吉田 充宏	寺門 定範	笹嶋 士郎	新垣麻依子	江田 五六	恵利 いつ	村上 孝	阿部 功志		岡崎 悟	植木 伸寿	大名美恵子	清宮 寿子
認定第 1号	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
認定第 2号	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
認定第 3号	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
認定第 4号	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
認定第 8号	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	認定
請願第29-1号	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	不採択

○…賛成 ×…反対

議案名と要旨

認定第 1号	平成28年度東海村一般会計歳入歳出決算の認定について
	平成28年度一般会計決算の認定を求めるもの
認定第 2号	平成28年度東海村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成28年度東海村国民健康保険事業特別会計決算の認定を求めるもの
認定第 3号	平成28年度東海村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成28年度東海村後期高齢者医療特別会計決算の認定を求めるもの
認定第 4号	平成28年度東海村介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成28年度東海村介護保険事業特別会計決算の認定を求めるもの
認定第 8号	平成28年度水戸・勝田都市計画事業東海中央土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成28年度水戸・勝田都市計画事業東海中央土地区画整理事業特別会計決算の認定を求めるもの
請願第29-1号	若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める請願
	高齢者の生活が計画的に成り立つよう、公的年金の隔月支給を毎月支給に制度変更を求めるもの

村政を問う!

一般質問

一般質問とは、村長や教育長に対して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、村政をより良い方向へ導くものです。質問時間は答弁を抜いて1人30分。再質問、再々質問まで許されています。

岡崎 悟 議員

- 1 村の公共交通の充実を求める
- 2 白方コミセン駐車場対策
- 3 教員の負担軽減について
- 4 ヒアリ等の外来生物対策

恵利 いつ 議員

- 1 歴史と未来の交流館建設への住民の理解度
- 2 生産意欲を高める農業支援のあり方

村上 孝 議員

- 1 国の農業政策に伴う本村の農業の在り方
- 2 老朽化した幼稚園の建て替え
- 3 斜面緑地保全と自然環境の在り方

河野 健一 議員

- 1 阿漕ヶ浦公園周辺整備について
- 2 合同庁舎及び東海地区交番跡地の今後
- 3 東海村長・2期目に向けてのビジョン及び課題

阿部 功志 議員

- 1 避難訓練の参加者・観察者からの意見は、また今後の訓練の計画は
- 2 高レベル放射性廃棄物地層処分の「科学的特性マップ」に対する村の対応は
- 3 原発事故避難誘導時において役場職員が被曝することに対する考えは
- 4 策定不可能と思われる避難計画だが、村長の見解は
- 5 Jアラートに対して、原発をかかえる本村の対応は
- 6 小中学校普通教室へのエアコン設置について、進捗状況は

笹嶋 士郎 議員

- 1 東海駅のトイレ改修
- 2 東海病院特別会計について
- 3 アイヴィルの活用
- 4 農地中間管理機構の状況

大名 美恵子 議員

- 1 産業・情報プラザの利活用向上に向けて
- 2 子どもの甲状腺検査の結果と今後の検査
- 3 敬老会及び金婚祝賀事業の継続を求めて
- 4 消防団活動の現況と活動充実のための支援
- 5 米政策の見直しへの村の対応
- 6 普通教室へのエアコン設置に関する考え方
- 7 東海第二原発の運転20年延長申請と再稼働問題に対する考え方

武部 慎一 議員

- 1 311 東北大震災による原子力災害で発生した除去物の今後の対応
- 2 公共施設周辺道路等の環境整備の基本的考え方
- 3 公共交通のモビリティマネジメント
- 4 学習指導要領の改訂による課題
- 5 個別管理計画におけるファシリティマネジメントと総合管理計画

植木 伸寿 議員

- 1 全国瞬時警報システム（Jアラート）の運用
- 2 障がい者支援に向けた取り組み
- 3 学習支援の取り組み
- 4 駅西駅前広場再整備の進捗

清宮 寿子 議員

- 1 中央地区区画整理事業の現状と課題
- 2 学童クラブ運営の指定管理委託の理由と、委託料算定の根拠は

※太字の質問を掲載。

※議会ホームページでもご覧いただけます。

問 地域公共交通の充実を求める



答 実行段階を目指し、取り組む

公明党 岡崎 悟 議員

問 多くの方から、公共交通の充実を求める声を聞いている。全ての世代が、年齢に関係なく、自動車免許を返納した後も自由に交流ができ、笑顔と対話にあふれた地域社会の構築と環境整備としての公共交通の充実が求められる。村長の考えは。

答 地域公共交通の充実には、多くの方から意見をもらっている。現在、担当課に検討させているところである。車を運転できない方や高齢者、学生等の足の確保が必要であり、地域の活力を維持強化する公共交通は必要である。本村では、デマンドタクシーと路線バスへの支援を行っている。移動手段確保による更なる公共交通の充実には急務であり、大事である。現在、全国の



公共交通の充実が求められる

情報をできるだけ早く集めて、本村にあった公共交通サービスの提供ができるようにしたい。公約に掲げた、「共生型の地域社会づくり」の一環として、強気に推進したい。検討ばかりでは進まないで、できるだけ実行段階へと入れるよう全力で取り組んでいく。

問 生産意欲を高める農業支援とは



答 村独自の推進策を創設する

光風会 恵利 いつ 議員

問 消費者の農産物に対する安全・安心志向が高まる一方で、農業従事者の高齢化、担い手不足がある。課題解決のためにも、需要(消費者ニーズ)に応じた農産物を提供できる農家を育成する政策が必要。

答 安全な農産物生産「GAP」、衛生的な管理「HACCP」が注目され、村内でも干しいも生産者を中心に導入の機運は高まっている。

問 村の転作奨励補助金は、生産意欲が湧く仕組みになっているのか。

答 一定の成果が得られた政策ではあるが、生産努力が低下してしまふという指摘もある。意欲をもって営農に取り組んでもらえる助成制度としていく。

問 「こじのなか」に



街頭アンケート8割がノー

おける出荷手続等の支援が必要。JAとの連携を密にすべき。

答 JAや出荷部会との意見交換の場に今後は積極的に参加し、出荷者の声の把握と課題解決に努める。

問 交流館建設は本当に必要か

答 必要と考える

問 交流館建設に反対、疑問の声が未だに多いが。

答 理解が得られるように説明を続ける。

問 米の直接払交付金廃止の対応は



答 飼料用米の作付面積を拡大する

豊創会 村上 孝 議員

問 国は生産性の上がる大規模農家の育成と、農地集約を図るようだが、本村の農業政策をどのように進めるのか。

答 米の生産調整が後戻りしないように、飼料用米の定着や需要に応じた麦や、飼料作物等の生産を引き続き推進する。

問 老朽化した幼稚園の建て替えは
答 施設の再編整備計画の中で検討

問 幼児と小学校を連携し幼児教育の充実を図り、50年を迎える幼稚園は即刻建て替えるべきだ。

答 幼児教育の充実は、幼児期に育ってほしい姿を明確にし、公立、私立関係なく保幼小連携を図るため、今後できるだけ早い時期に基本計画案をまとめ



老朽化した幼稚園を建て替えるべき

たい。

問 緑地保全に伴う用水路の清掃
答 自治会などの地元団体と連携

問 坏土地改良区内の用水路の給水設備が完成して以来、斜面緑地にある用水跡地がそのままに放置されている。

答 関係団体が連携して水路や農道等の管理を行う体制づくりを支援していく。

問 国体開催までの取組みは

答 効果的な整備手法を検討していく



新政とうかい 河野 健一 議員

問 現在、村松地区周辺整備検討委員会において、阿漕ヶ浦の周辺整備に向けた検討が行われている。委員会の進捗、今後の取組みについて伺う。

答 現在、この地区の活性化の方向性を取りまとめられているところであり、具体的な取組みは次の段階にて検討する。今後は計画を策定し、取組みを行っていく予定だが、実施段階における費用や効果等の分析も必要であり、一定の年数を要するものと考えている。

問 2年後に行われるいきいき茨城ゆめ国体でホッケー会場として使用する阿漕ヶ浦公園や国道245号線の拡幅工事によって減少する駐車場対策を踏まえ、公園内及び公園周辺については景観等を考慮し、先行して行う

ことができる整備については国体の開催までに実施することが望ましいと思われるが考えを伺う。

答 公園の景観整備や駐車場対策については最優先に進めていくことが効果的であると認識しているので、関係地権者等と協議し、整備手法を検討していく。



2年後の国体に向けた整備を行う

問 避難訓練で参加者から出た意見は

答 情報発信のあり方を見直して

豊創会 阿部 功志 議員



問 7月30日の避難訓練は、参加者からの意見も踏まえ、問題点をどう洗い出したか。

答 情報発信のあり方を重要視。防災無線や緊急速報メール、SNSなど多様な手段で発信したが、文字数の制限などがあるなかで分かりやすく伝えるためには、日ごろからの普及啓発が必要だ。

問 次の避難訓練はいつか。

答 未定。避難先3市との調整後、避難所運営訓練などを実施したい。

問 Jアラートに対する本村の対応は

答 説明

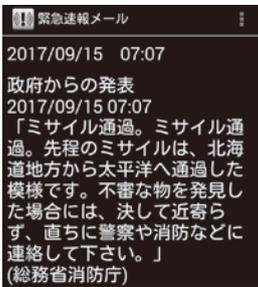
問 原発をかかえる本村の対応を伺う。

答 村のホームページでJアラートの仕組みやミサイル落下時の対

応について説明し、防災ラジオ無償貸与を村報に掲載。原子力防災対策の充実強化や安全対策の確立に関して、国に意向を伝えていく。学校では注意点を文書で保護者に知らせ、校内では退避等の行動確認をした。

問 国は原発へのミサイル対策をしていない。村長の考えは。

答 テロ、武力攻撃に對しては、法制制も含めて強化しなければならないと思う。



原発へのミサイル攻撃に対策を

問 病院特別会計の内部留保資金活用

答 計画の策定後具体的な試算を行う

新政とうかい 笹嶋 士郎 議員



問 病院会計は、独立採算制で行うことが本来の経営である。しかし、新病院経営を民間に委託して10年経過したが、いまだに一般会計より「補助金」「負担金」「出資金」が繰り入れられている。前回の質問で内部留保資金の活用が検討課題となっているが、進捗状況を伺う。

答 検討を開始している。建設から10年経過し、施設や設備等の修繕・更新が必要になっている。現在、「公共

建築物長寿命化保全計画」を策定中であり、計画の策定を待って、具体的な試算を行う。

問 新病院開院から13億円も内部留保資金が積み立てられている。一般会計からの繰入金を削減すべき。

答 一般会計からの繰入金は、病院事業会計の運営に必要な財源であり、一定額の繰り入れは必要。しかし、今後の一般会計からの繰入金の方については、調整していく。



病院事業会計決算書

一般質問

問 米政策見直し後も 村補助の継続を

答 より効果的な支援のあり方を検討

無会派 大名 美恵子 議員



問 2018年度以降の米政策の見直しへの対応は。

答 平成30年度からは国主導の生産調整が終了。産地では主食用米や麦、大豆、飼料用米等の転作作物は需要に応じた生産が求められる。村はJAと連携し村内14の集落転作実践委員会を通じて新しい米政策を周知。9月3日には講演会により、「米価安定のためには引き続き生産調整が必要」「農業者主体で水田農業のあり方の議論が必要」等の認識を深めた。今後も安定した農業経営や担い手の育成等に取り組む。

問 国が示した「水田活用の直接支払い交付金」対象農地の基準への対応は。

答 対象外でも村の助成は暫定的に継続できるように検討している。



農業者の担い手の育成が望まれる

更に交付対象外の農地で今年度飼料用トウモロコシの試作圃場を設置し、収量性や経済性の検討を行っている。
問 本来の農業ができなくなっていくため、経営が成り立つ支えが必要。
答 より効果的な支援の検討を進めている。

問 村総合管理計画の 方向性はいかに

答 次世代に引渡す公共事業を目指す

新政とうかい 武部 慎一 議員

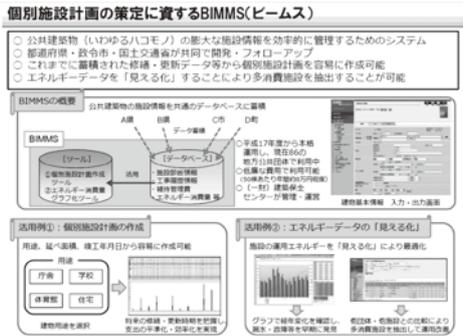


問 村全体を俯瞰した総合管理計画の構築には、公有財産運用を資産経営と位置づけて、ファシリティマネジメントによるケーススタディを行うことにより、実施の可能性を評価した上で進めることが必要ではないか。

個別施設の管理計画の実行性については、地域のニーズ等のバックボーンが必要不可欠である。地域のニーズを聴き可能性を評価し実行していく。現状を評価するための情報を、今後どう収集し、整備を進めていくのか考えを伺う。

答 公共施設を評価するために稼働率等の集計方法をルール化する。

て、そのデータを蓄積し、適正な評価を進めていく。また、公共施設の本来の目的での有効活用を図るため、公共施設の環境を整える作業から次の段階の有効活用に移行し、施設の長寿命化だけでなく、仕掛けを考えることを全職員で推進していく。多様な情報を基に仕掛ける作業が必要となる。住民のニーズに基づいた、次世代に引渡せる公共施設を目指し、時間をかけずに進めていきたい。



インフラ施設の総合管理計画における個別管理計画
個別施設計画の策定に資するBIMMS
(国土交通省:保全マネジメントシステム (BIMMS) HPより抜粋)
(BIMMS: Building Information System for Maintenance & Management Support)

問 不足する保育士確保は

答 経済的支援も検討



公明党 植木 伸寿 議員

問 保育士確保に向けて取組むのか伺う。

答 保育士不足が徐々に深刻化していることから、潜在保育士への復職を後押しするため、経済的支援などを核とした即時性の高い確保策を進めたい。

問 さらに、村内の保育業務に携わる人材を育成確保するため、保育などの職種に就いた方へ奨学金の償還金を補助する仕組みを考えたかどうか。

答 県内でも、一定の職種に就いた方や定住することにより、奨学金償還金相当額を補助する自治体もある。今後、そうした事も関係課と共に研究していきたい。



保育士不足が深刻化している

問 学習支援の取り組みを伺う

答 学校と地域が一体で進める

問 学習支援の必要な子どもたちへの取組みは。

答 社会福祉協議会では、土曜日に公共施設を利用し学習サポートをする「オアシス」の活動がある。また、地域での支援として次年度より村松小学校でコミュニティスクールをスタートし、学校と地域が一体となり子どもを支えていく取組みをモデル的に進めたい。

問 学童クラブ委託と委託料の根拠は

答 管理事務への対応と安全管理強化



無党派 清宮 寿子 議員

問 期待する民間のやり方技能とは何か。また、事故時の責任所在は。

答 多様化した管理運営事務への対応・安心できる環境改善・一括管理できるメリットを生かした指導員のスキル向上。また、施設の管理瑕疵は指定管理者、施設の設置瑕疵は村。

問 委託料が約3千4百万円から約9千9百万円と3倍に増額した理由は。

答 国の基準を超える30人に2人の職員配置と事務員、クラブ長の配置。

問 学童クラブは親たちの切実な願いで誕生した。国は1990年まで、遊び場があれば学童クラブは不要という考えだった。しかし増え続ける学童クラブは、一時的な遊び場で



学童クラブは福祉ではなく教育の一環

なく生活の場として法制化された。本村は2420人中、25%の583人が学童クラブに在籍。未来を背負って立つ子どもは社会全体で責任を持つべきであるが、現状は民生費の社会福祉事業である。教育費の小学校運営事業とし、教育委員会の管理事業と考える。

答 制度上福祉部が担当。教育委員会としてクラブ長、事務局長と連携支援する。

一般質問

12月定例会日程(予定)



村内各コミセン
総合福祉センター「絆」
でライブ配信中

期 日	時 間	内 容	期 日	時 間	内 容
12月 1日(金)	午前10時～	開 会	12月14日(木)	午前 9時～	予算決算委員会
12月11日(月)	午前10時～	一般質問	12月15日(金)	午前10時～	予算決算委員会
12月12日(火)	午前10時～	一般質問	12月20日(水)	午前10時～	議案審議
12月13日(水)	午前10時～	一般質問			

※日程は変更になる場合があります。

※開会・一般質問・議案審議は、議会棟2階の議会事務局窓口で住所・氏名等を記載するだけで、どなたでも傍聴できます。(受付は30分前から)

イモソリーファミリーと学ぼう 議会の豆知識 ⑥

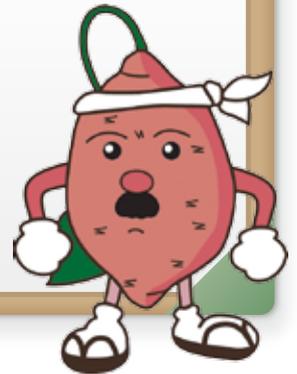
議員定数、報酬はどうなっている？

議員の定数は議会ごとに条例で定められています。住民の数を考慮しつつ、住民の多様な考えをまとめて村の意思を決定するのにふさわしい規模であることが必要です。本村の定数は20名となっています。

報酬も議会ごとに決められ、本村の議員報酬は月額36万7000円（議長は43万円、副議長は38万8000円）です。

このほか、使途に制限のある政務活動費（議員一人月額2万円）がありますが、報酬とは別です。

現在「議員定数及び報酬に関する調査特別委員会」で、定数と報酬について検討中です。



編集後記

今定例会は8月に村長選挙が実施されたことにより、例年とは異なる9月29日開会となりました。

さて、去る9月に議会広報研修会が開催され「議会報の歴史」から「伝わる議会報」など議会報に関する中で本村議会だよりについて、伝わる議会報としては「まだ伸びしろがある」との評価をいただきました。手に取りたくなるような表紙づくりから、わかりやすく読みやすい記事とレイアウトとなるよう少しずつではありますが、様々な工夫を凝らし、村民の皆様には伝わる議会報となるよう努力してまいります。

(新垣 麻依子)

議会報編集委員会

委員長	植木 伸寿
副委員長	清宮 寿子
委員	岡崎 悟
恵利 いつ	吉田 充宏
阿部 功志	新垣麻依子

この議会だよりは再生紙を使用しています。